

子宮頸がん集団検診受診者募集

市の検診は個人で受けるより4000円もお得！
日曜日も検診が受けられるようになりました！

子宮頸がんは子宮の入口付近にできるがんで、20～30歳代に急増中です。必ず検診を受けましょう。

保健センター会場には小さなお子さん連れの方のための、親子待合いのプレイルームがあります。検診時はお子さんを預かりますので、申し込み時にお伝えください。

▼対象 市内在住で20歳以上（平成7年3月31日以前生まれ）の女性

※健康保険の種類は問わない。ただし次の方を除く（性経験のない方が希望する場合は要相談）

・妊娠中または妊娠の可能性がある方

・子宮疾患で治療中または経過観察中の方

・今年度中に子宮頸がん医療機関検診を利用予定の方

▼内容 子宮頸部細胞診（ブラシで子宮頸部の細胞を採取）

▼料金 820円（検診日

当日に徴収）

※75歳以上（昭和15年3月31日以前生まれの方）の方は無料

▼申込方法 5月26日（月）～6月6日（金）に電話または窓口で申し込む（午前8時30分～午後5時15分／土・日曜日を除く）

※個人通知のお知らせはありません

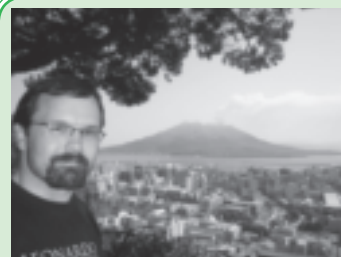
▼申込・問合せ先 保健センター ☎48・6000

期 日	会 場	期 日	会 場
7月2日(水)	保健センター	7月8日(火)	郷州公民館
7月3日(木)	文化会館	7月9日(水)	文化会館
7月4日(金)	高野公民館	7月10日(木)	保健センター
7月6日(日)	保健センター	7月11日(金)	保健センター
7月7日(月)	中央公民館	受付時間 13:00～13:45	

国際交流員

ヨークさんの

MORIYA 滞在記



直球すぎる？

日本とドイツは文化が異なります。文化に基づく人の行動や言動が異なることもあるでしょう。

一般的に、日本ではある程度の曖昧さが美德だとされていることに対し、ドイツ人は考えを直接的に発言すると言われます。さて、本当にそうでしょうか？

今回は、日本とドイツの単刀直入な言動についてお話しします。

した。日本語ならば失礼に当たる言葉も、英語ならば言えるという雰囲気でした。その学生は「西洋では自分の意見をはっきり表現する」ということを聞き、自分の考えを直接的に述べることと侮辱することを混同したのではないかと感じました。

確かにヨーロッパでは好き嫌いについて当然のように言えますし、招待を受けて断る際にもうそをついたり、言い訳を見つたりするより「その気がないからごめんなさい」と言っても問題ではありません。もちろん、ドイツでも上司には言えませんがね！

（笑）。時には、ドイツでも苦しまぎれのうそを使うこともありますが、誰かに意見を聞かれたら、うそをつかず本音を話します。

また、日本では外国人がショックを受けるほどのストレートな質問があることをご存じですか？

例えば、あいさつ後すぐに「恋人は？」「結婚している？」と聞くのはプライベートな話であり、ドイツ

では親しくなってから話す内容です。実のところ、欧米で恋人の有無を尋ねられた場合、恋愛対象として興味があると理解されます。日本特有の「直球に言える・聞ける」と感じることはさらにあります。

例えば、日本でも海外と同様に年齢を聞くことは（特に女性に対して）失礼だと考えられているそうですが、私が来日してから出会った人の言動からは、年齢を聞いても（聞かれても）悪いことではないという印象を受けました。

その他には、性別に関係なくよく耳にするのは「太った？」という質問です。ドイツではそのような失礼に当たる質問はしません。太れば自ら気付かない訳はないですし、何より聞かれたら嫌なものです。

ストレートさはいろいろなありますが、一般的に日本でも、ドイツでも、どんな国でも相手を尊重し、相手の感覚を考慮したルールを守ることで、皆にとっても少し快適な世界になると思いませんか？